

2011年1月28日以降に降下したテフラの分布・体積

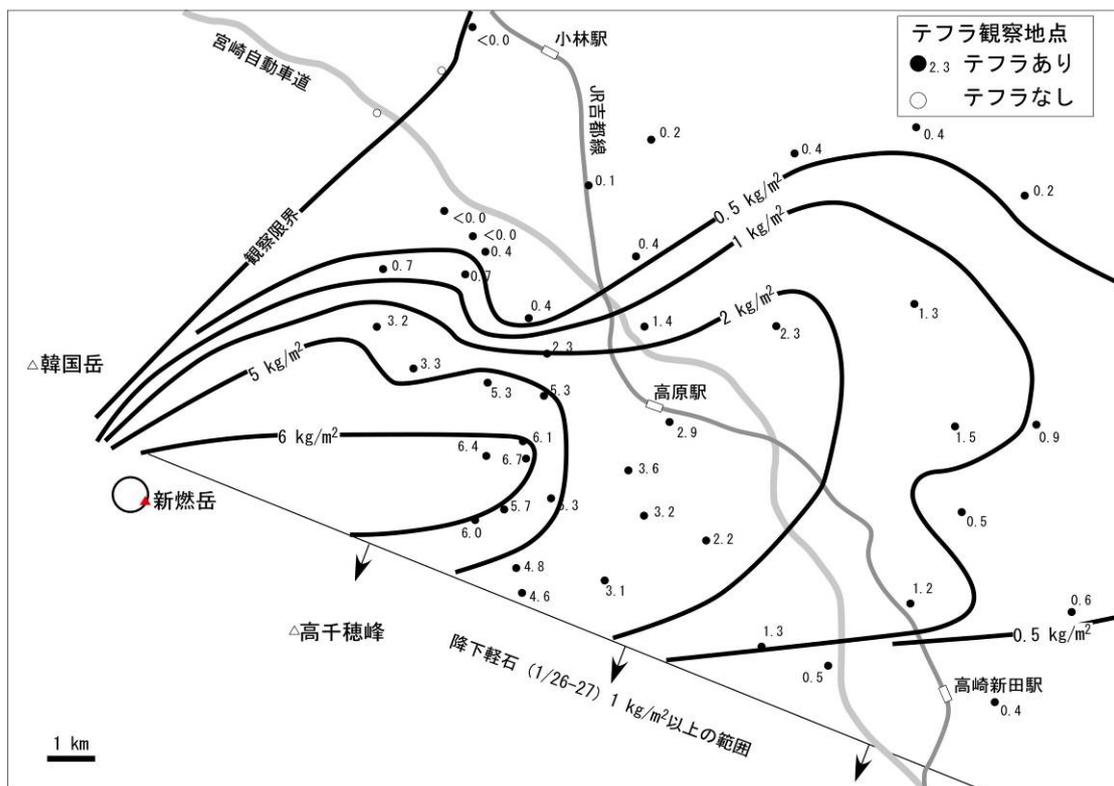
[まとめ]

- ・1月28日以降に降下した火山灰の等重量線図を、2月7-9日にかけての調査を基に描いた。
- ・総噴出量は、約200万トン以上と推定される。

[本文] 1月28日以降に宮崎県高原町周辺に降下した降下火山灰の噴出物の調査を2月7-9日において行なった。この地域には27日までの降下軽石は 1 kg/m^2 以上降下していない。

1月28日以降に高原町周辺に降下した火山灰は、礫サイズの緻密な岩片が混じる火山灰からなる。火口から9km以内では1cm以上の岩片を含む。

1 kg/m^2 、 2 kg/m^2 及び 5 kg/m^2 の等層厚線を基に Hayakawa (1985) の簡便法を用いて噴出量を求めると、総噴出量(重量)は約200万トンである。聞き取り調査によると火口から南東方向へも28日以降も降灰があったことから、実際の総噴出量は200万トンより多い。



1月28日以降の降下火山灰の等重量線図(速報版)。

2月7-9日の調査で高原町周辺に堆積したもののみ記す。降下軽石降灰域上のは、軽石噴火直後の細粒火山灰との分離が困難なため描いていない。